



2015年度WRJ総会を終えて
～28年目のスタート～

WRT代表スーレと加藤代表

あっという間に秋が深まり、毎日のウォーキングコース、生田スタジオ前のイチョウ並木やよみうりランドのイチョウ達が旺盛に銀杏を落下させ、歩道は足の踏み場にも困るほどにその“生命力”を誇っています。

9月3日、正会員の皆様のご協力を頂き、法人化後第6期目の総会を無事終えることが出来ました。ご出席頂きました皆さん、委任状もしくは表決表をご提出頂いた皆さん、ご協力ありがとうございました。「走るNGO」WRJは2016年度も「貢献のために走る機会の提供」と「慢性的飢餓の現地アフリカへの支援」を両輪として活動して行く所存です。

来年2017年はアフリカ訪問の年です。今年はそのための準備の年となります。一人でも多くのWRJの関係者がアフリカの現地と人々に直接触れて欲しいと願っています。走るという分野では、川崎市古市場陸上競技場で開催して来た「ランニング感謝祭」と「チャリティーリレー for AFRICA」を、より環境の良い会場で開催出来る様探索を進めています。また、お台場での「新チャリティーラン」開催に向けての準備や平日夜間開催の定期ランの試行等動きはアクティブです。

WRJは本年8月をもって設立28年目に入りました。正会員、賛助会員始め様々な形でWRJを支えて下さった多くの皆様に心より感謝申し上げます。専従スタッフを置かず、関係者全員仕事をもちながらのボランティアでの活動でした。これからもWRJのこの活動スタイルは変わらないものと思っています。「走る事を通して貢献する」というWRJのビジョンに同意出来る人は誰でも参加可能なスペースとしてWRJを提供し続けたいと思います。

思えば27年前モスクワで「私がWRの活動の日本での責任をとります」と宣言したのがWRJの全ての始まりでした。やり方は何も知りませんでした。口にした言葉だけが在りました。WRJの伝統は、「言い出しっぺが責任をとる」です。是非、二足の草鞋を履きにWRJにおいで下さい。

皆様のさらなる参加とご支援をお願いし挨拶とさせていただきます。

2016年10月28日

WRJ代表理事 加藤 典宇暉

2016年10月1日・2日にお台場で開催された「グローバルフェスタ JAPAN 2016」に、今年もワールドランナーズ・ジャパン (WRJ) はブースを出展しました。

「走ることで貢献する」というメッセージを多くの人々に伝えたく、4年前に生まれたのが「たすきで繋ぐチャリティーリレー」という体験型のブースでした。ルールは簡単で、参加者はたすきに自分の名前を書いてランニングマシンで1分間走ります。同時にエントリーフィーとして“100円”を募金として支払うことでチャリティーランを少しだけ体験することになります。そのたすきを次の参加者に繋ぐことで体験が次々と連鎖し、結果的に多くの人が「走ることで貢献」を疑似体験していくことになります。昨年からWRJのFacebookファンページに参加ランナーさんの写真を掲載しており、貢献するために走ったご自身の姿を改めてご覧いただける様にもなっています。

今年はフェスタ主催者に「ブース見学ツアー」と称したお子様を対象にSDGs(持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals)や国際協力について学びながら楽しくブースを見学して回るツアーの立ち寄り団体として選ばれ、WRJの活動を紹介すると共に、参加された全てのお子様に「走って貢献する」ことを体験して頂きました。

この「たすきで繋ぐチャリティーリレー」の参加者は、4年間で延べ約700人を超え、皇居周回コースで開催したチャリティーラン1大会分に匹敵するほどの人数に、その体験を通じて私たちのメッセージを伝えることが出来ました。

今年も140人近くの皆様に走っていただき、その参加料を含む募金総額は合計21,670円となりました。募金は慢性的飢餓を撲滅するためにタンザニア、ケニアを支援しているWRJの活動費として大切に使用させていただきます。走った方も走らなかった方も募金をしてくださいまして本当に有難うございました。

また10月1日には活動報告コーナーにてWRJ活動報告会を開催しました。スライドや動画を用いて金子副代表理事と鈴木理事がWRJの活動を紹介し、私たちの日頃の活動を多くの皆様に知っていただくことが出来ました。

このように大会以外の機会でもWRJの活動を知ってもらうことで、ビジョンである「走ることで貢献をする」ことを根付かせ拡大してゆけるのだという手応えを感じる事が出来た2日間となりました。



WRJブースの様子



グローバルフェスタ
たすきで繋ぐチャリティーリレー

第18回 WRJ新春ランニング感謝祭 開催のお知らせ！

～走ることで貢献できてありがとう～

来年2月に恒例の「第18回 WRJ 新春ランニング感謝祭」を以下要領にて開催します。皆様の参加をお待ちしています。

- 【日程】 2017年2月5日(日) 9時受付開始
- 【場所】 川崎多摩川緑地古市場陸上競技場をスタート・ゴールとする
ハーフマラソンコースの一部を使う往復コース
- 【種目】 ハーフ、10km、5km、
- 【スタート時間】 ハーフ 10:30 10km 10:40 5km 10:45
- 【参加費】 各種目とも 1人 3,000円 中学生以下 1人 1,500円
ゲスト:ものまね界最速ランナー M高史さん
- 【申込方法(インターネット)】

RUNETから「ランネット WRJ 新春」
SPORTSENTRYから「スポーツエントリーWRJ 新春」
SPORTSNAVIDOから「スポーツナビWRJ」

※郵便振替:郵便局備付の「払込取扱票」にて振込

申込締切:2017年1月5日(木)

※詳細は、同封の案内をご覧ください <http://www.wrj.jp/2017kansyasai.html>をご覧ください。

尚、古市場陸上競技場、および周辺にも駐車場はありません。お車でのご来場はお控えください。

また、当日出たゴミは必ずご自宅までお持ち帰り頂くなどマナーアップにも御協力ください。



昨年のスタートの様子

当日ボランティアとして大会に携わっていただける方も募集中です。ボランティアにご興味のある方は
info@wrj.jp へお問い合わせ下さい。

今年も2名の女子生徒に奨学金の支給を開始しました！

ワールドランナーズ・ジャパン(WRJ)は、アフリカプロジェクトの一環として、昨年からタンザニアの女子中学生に奨学金を支給しています。貧しい家庭に生まれ学校に行く経済的余裕がない、でも勉強は続けたいと願う子供達で、校長の推薦を受けた生徒を対象にしています。昨年は、タンザニア北部のアリューシャ市郊外にあるムリング中学校に通う2名の生徒に支給しました。今年も新たに2名が加わり、現在、奨学金を受けている生徒は計4名となりました。

今年 加わった2名は、SHAOさんとABDALLAHさんです。簡単に2名のことを紹介します。



SHAOさんは、幼いときに父親を亡くし、母親は姉弟と別の場所に住んでいます。本人は祖母と一緒に暮らしていますが勉学に適した環境ではなく、経済的にも学校に通い続けることが困難なため、奨学金を申請してきました。将来の夢は、医者になり地元のコミュニティの人達をサポートすること、また経済的に家族を助けたい、という想いも持っています。



もう1人のABDALLAHさんは、4人姉妹の末っ子です。父親の収入が少ないため生活は苦しく、このままでは学費を払えないため奨学金を申請してきました。将来は教師になり、家族の生活も助けたい、と願っています。

2人とも、将来の夢の実現のために一生懸命勉強すると約束しており、是非 願いを叶えて欲しいと思います。

昨年から奨学金を受けているSHARIFAさんとUPENDOさんも、順調に勉強を続けているとタンザニアから報告が来ています。

タンザニアでは年間1人500ドル(約5万円)あれば、寄宿舎で生活しながら学校に通うことができます。WRJは、毎年2名ずつ対象者を増やし、彼女達が将来の夢や希望を叶えられるように高校を卒業するまでの6年間、継続的に支援していきます。皆様も、タンザニアの貧しい家庭の少女達に教育の機会を提供し、彼女達が夢を叶えることを一緒にサポートしていきませんか。奨学金プロジェクトは、1口1,000円からご参加いただけます。ご支援、よろしくお願い致します。



○AFRICA プロジェクト視察ツアー

内 容：支援先アフリカの現地の実際に触れ、現地のパートナー達と人間関係を再創作しプロジェクトの完了を確認し次を創作する。

期 間：2017年7月中旬に10日間前後を予定しています。

場 所：ケニア（ナイロビ）、タンザニア（アリューシャ、ブル）



給食の基本メニューは豆の混ぜご飯です。週に1度はお肉もはいるようです。年間15万あれば、週末の給食を提供できます。
(プムワニの給食プロジェクト)



2015年度(特活)WRJ通常総会報告

2016年9月3日(土)当法人ワークスペースにて、法人化後6期目の総会を開催しました。正会員33名中出席10名委任状表決表提出11名を加え21名の出席となり総会は成立。開会宣言・代表挨拶からスタートし、議長選出・書記並びに議事録署名人2名の選任が行われ審議へと移りました。徳永議長の采配で審議はスムーズに進行し、活発な質疑応答が行われました。役員の承認と選任後、2015年度事業報告・2015年度決算報告2015年度監査報告が行われ、満場一致をもって異議なく可決承認されました。続いて2016年度事業計画・2016年度予算等の審議が行われ、グローバルフェスタ(お台場)でのランニングイベントの可能性、アフリカプロジェクト視察ツアーなどについての活発な質疑応答があり、こちらも満場一致で可決承認され総会を無事終えることが出来ました。

総会終了後、ワークスペースの近くかねてからの気懸り、居酒屋「天然勝手流台所 上々」に席を移しWRJ恒例の懇親の時を持ちました。美味しい料理や飲み物に満足し、大いに盛り上がりました。お腹も心も満たされ楽しい時を過ごすことができ、今年度も楽しく頑張るぞという気持ちになりました。

WRJ 副代表理事 佐藤 高正

不定期ラン(since2013)のご案内

12月3日(土)浦和の別所沼公園で行っている「チャレンジ2020」(2020年の東京五輪までの2020日間、毎日誰かがフルマソン)に参加します。一周900mほどのコースをリレー形式で42.195km走ります。

<http://c2020.jimdo.com/>

またクリスマス不定期ランを今年も行います。日程は12月後半の午後を予定しています。場所は横浜方面で、山下公園・教会エリア・赤レンガ倉庫など港周辺か箱根駅伝のコース(権太坂)を考えています。もちろん、サンタコスチュームでのランです。ラン終了後の懇親会は横浜中華街で食べ放題飲み放題の2時間一本勝負です。



○参加希望・ご質問に関して

定期ラン連絡用メール(teiki-run@wrj.jp)へ、定期ランマネージャー佐藤、和田、鈴木理事に届きます。

※連絡が取れない場合はWRJ事務局まで
(044-949-1068)

定期ラン(since1994)のご案内

WRJではランナーの交流の場として毎月第二日曜日に定期ランを開催しています。

通常は皇居周回コース(1周5km)で、竹橋・平川門前をスタートし、走力に合わせて1~3周を走ります。(年に数回、皇居以外の多摩川や荒川等で開催しています)。

いつもの和気清麻呂銅像前公園は工事のため、100mほど回った平川門前集合になります。

終了後18時から懇親会を開催しています。

(神田駅周辺「白木屋」など)

○参加希望・ご質問に関して

定期ラン連絡用メール(teiki-run@wrj.jp)へ、定期ランマネージャー佐藤、和田、鈴木理事に届きます。

※連絡が取れない場合はWRJ事務局まで
(044-949-1068)

次回:12月11日(日)(第271回) 皇居周回コース

14時40分:JR神田駅北口 改札口前集合

15時30分:竹橋・平川門前集合(東西線・竹橋駅)

※和気清麻呂像の広場が2020年3月まで工事のため

次々回:1月8日(日)(第272回) 皇居周回コース

次々回:2月12日(日)(第273回) 皇居周回コース

○皇居以外の開催予定

3月 よみうりランド周回

4月 多摩川・国立

不定期ラン報告

(佐藤 高志)

秋の不定期ランは、9月19日(月)のシルバーウィークの時に、神田川(井の頭公園から月島)をランニングするコースで行いました。10月2日のグローバルフェスタでは、お台場チャリランの下見ラン。10月22日(土)には、日本一周ランのノ枝さんの応援ランで、九十九里浜を約32km走りました。

2015年度WRJ会員とサポーターの皆様、ご寄付頂いた皆様

WRJへのご支援をありがとうございます。

三科 美由紀、大淵 秀仁、小坂 雪雄、豊田 佳美、細田 晶子、久保 正義、住吉 健、田中 克彦、升 弘之、野坂 良勝、湯山 花子、細貝 博、岡田 修、三田 正二、三田 裕の、金子 良太、土屋 祐巳子、鈴木 香子、山田 努、松井 清美、杉浦 正宣、松川 文子、三田 富美子、佐藤 高志、陸井 大三、宇佐美 弘子、川村 純、宮崎 洋介、山田 晃弘、和田 基靖、多田 育代、石見 健、山口 勝之、津川 芳己、牧岡 洋子、宇賀 直美、串橋 徳明、鈴木 豊、鈴木 佐和子、佐藤 良子、柏 正俊、中田 彰生、前島 真織、上川路 正信、加藤 一枝、植草 英一郎、白井 恵子、梅原 実、徳永 京一、古谷 雅彦、萩生田 良志美、佐藤 高正、日向 洋子、飯田 恵理子、矢崎 芽生、田口 達、斉藤 健三、鈴木 経彦、内田 浩之、後藤 勇夫、岩井 暁子、芦名 伸明、浅木 かおり、飯田 正一、清水 宣子、石川 太三、清水 誠、藤島 政彦、佐々木 教雄、大井 英臣、佐藤 透、荒木 安喜子、小幡 洋子、石橋 三男、稲川 幸子、土井 研、土居 宏、森部 和彦、緒方 栄一、鴨崎 晃、藤林 保信、中野 敬介、菅原 皇治、檀渕 祐介、竹中 孝太、松浦 達治、奥田 亮平、池田 篤史、柴田 和博、松林 大悟、野呂 次男、鴨崎 美紀、結野 京子、高須 みどり、鷹鳥屋、砂川 利恵、卯野木 恵、山崎 篤、福井 仁、張 志昶、村田 祐一、今村 隆次、久原 奈穂、日下部 博子、加藤 典宇暉 (敬称略、順不同)

編集後記

ワールドランナーズ・ジャパンの支援により、4名のタンザニアの少女たちが学校に通えるようになってきています。学校で真剣に学んでいる姿が目に見えてきます。そして、前にケニア・タンザニアに訪問した時に会った子ども達の眼差しを思い出しました。医師、教師、それぞれの夢に向かって頑張っているのです。今後もサポートを続けていきたいと思っています。

(WRJ 副代表理事 佐藤 高正)

